

I - 4 地域別集計（教職員、保護者、学校評議員、一般県民）

表 I-4 学校関係者ならびに一般県民の地域別回答者数（人）

	教職員	保護者	学校評議員	一般県民
横浜	224	566	72	546
川崎	117	323	49	229
相模原	112	250	36	67
横須賀三浦	225	523	81	112
県央	427	459	71	75
湘南	624	714	108	124
県西	254	687	100	52
無回答	63	110	17	28
合計	2,046	3,632	534	1,233

表 I-5 地区区分

横浜	横浜市
川崎	川崎市
相模原	相模原市
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

I-4-1 「学校・家庭・地域での教育課題」

教職員、保護者、学校評議員及び一般県民による『学校・家庭・地域での教育課題』についての回答結果を地域別で比較したところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」の回答の割合の合計が最も高かった項目は、教職員では、いずれの地区においても「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」が最も回答の割合が高く、その割合は横浜地区 71.4%、川崎地区 80.4%、相模原地区 79.5%、横須賀三浦地区 87.1%、県央地区 87.1%、湘南地区 81.1%、県西地区 91.0%であった。

保護者では、川崎・相模原・横須賀三浦・湘南・県西地区において「家庭ではしつけや教育が十分に行われている」（川崎：46.8%、相模原：40.4%、横須賀三浦：46.1%、湘南：43.7%、県西：42.4%）との回答が最も高く、横浜・県央地区において「学校では確かな学力の定着が図られている」（横浜：44.0%、県央：41.8%）との回答が最も高かった。

学校評議員では、横浜・川崎地区において「学校では確かな学力の定着が図られている」と「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（横浜：61.1%、川崎：55.1%）との回答の割合が最も高く、相模原・湘南地区において「学校では確かな学力の定着が図られている」（相模原：69.5%、湘南：56.5%）との回答が最も高く、横須賀三浦・県央・県西地区において「学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる」（横須賀三浦：69.2%、県央：69.0%、県西：69.0%）との回答が最も高かった。

一般県民では、横浜・川崎・相模原・横須賀三浦・県西地区において「学校では確かな学力の定着が図られている」（横浜：24.2%、川崎：28.9%、相模原：25.4%、横須賀三浦：25.9%、県西：15.4%）との回答の割合が最も高く、県央・湘南において、「地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている」（県央：24.0%、湘南：23.4%）との回答の割合が最も高かった。（図 I-152～171 参照）

図 I-152 学校では確かな学力の定着が図られている(教職員)

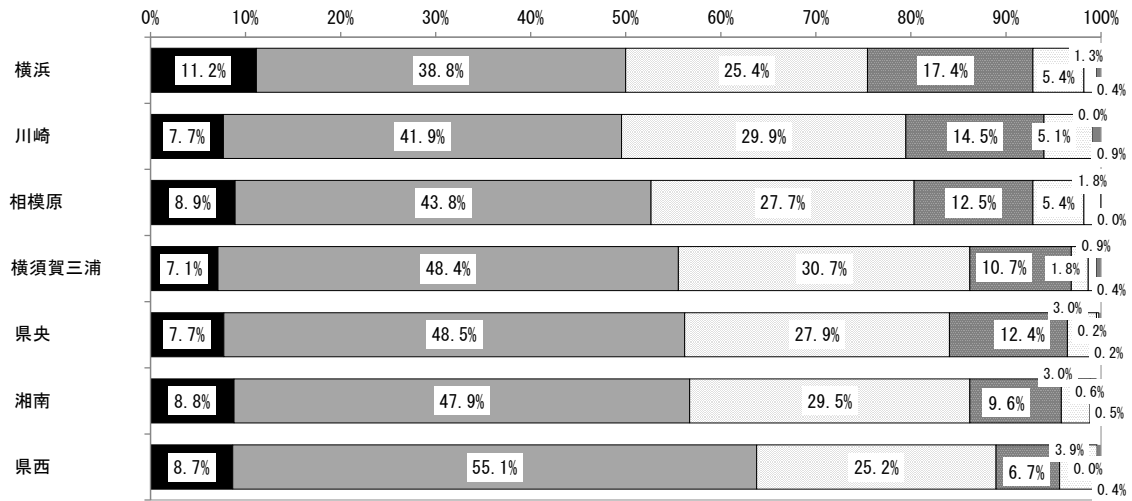


図 I-153 学校では確かな学力の定着が図られている(保護者)

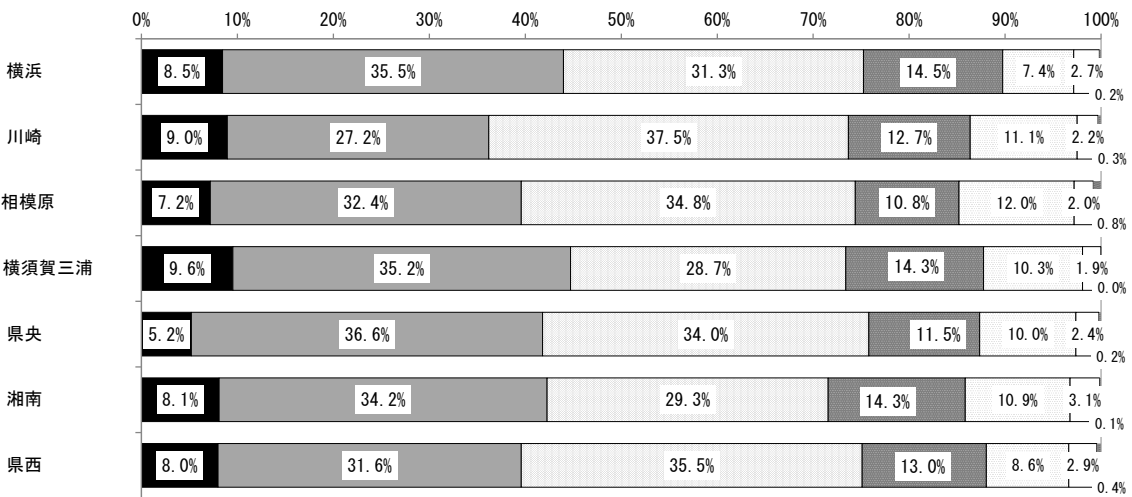
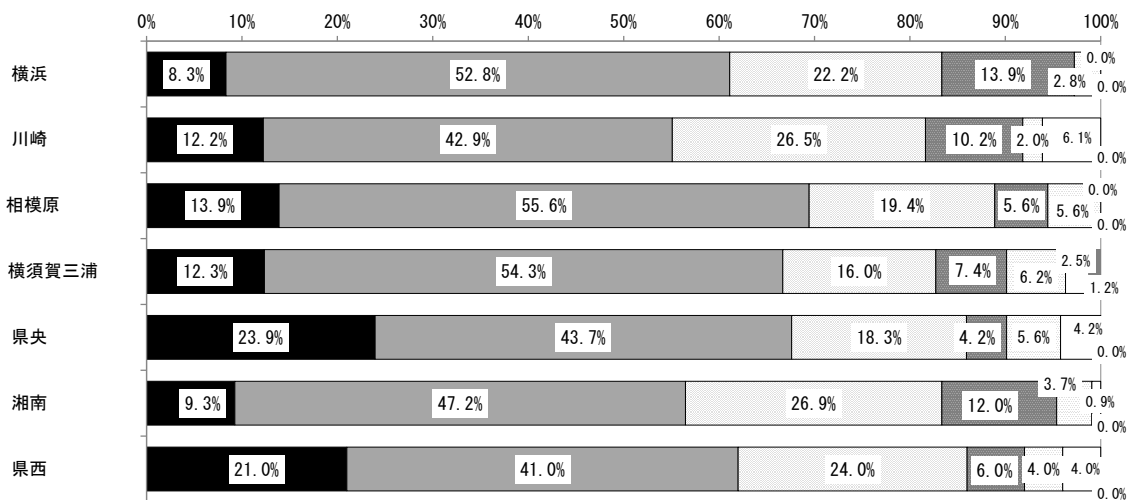


図 I-154 学校では確かな学力の定着が図られている(学校評議員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-155 学校では確かな学力の定着が図られている(一般県民)

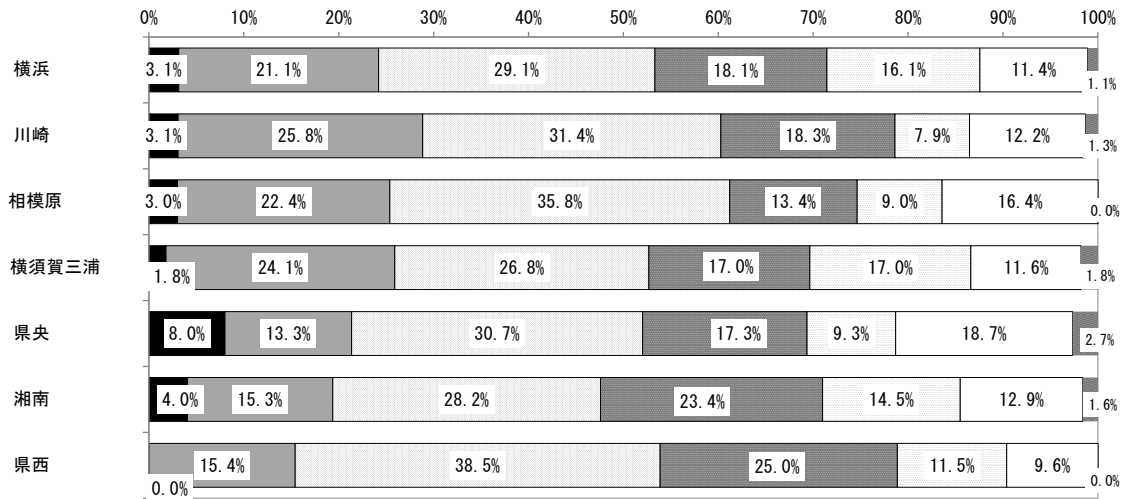


図 I-156 学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている(教職員)

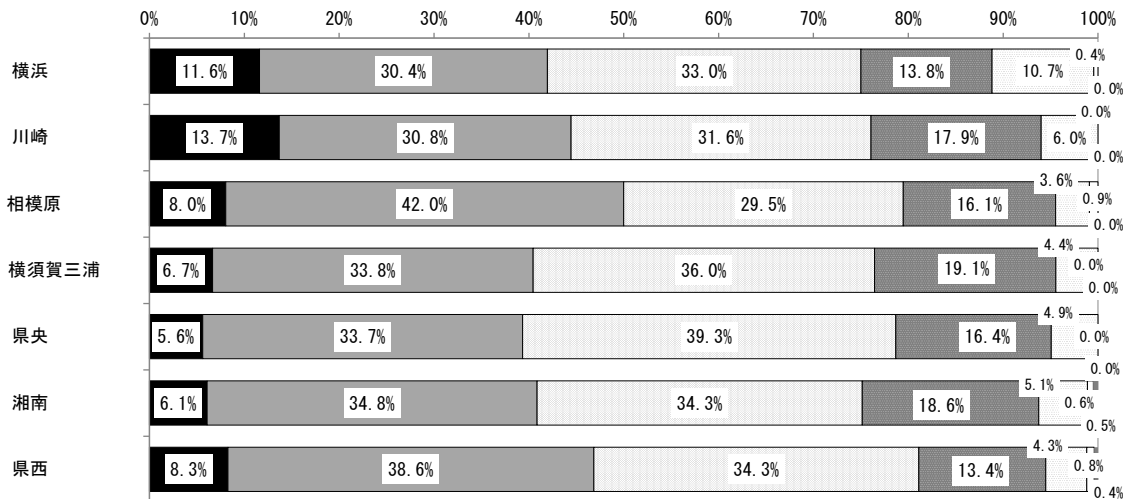
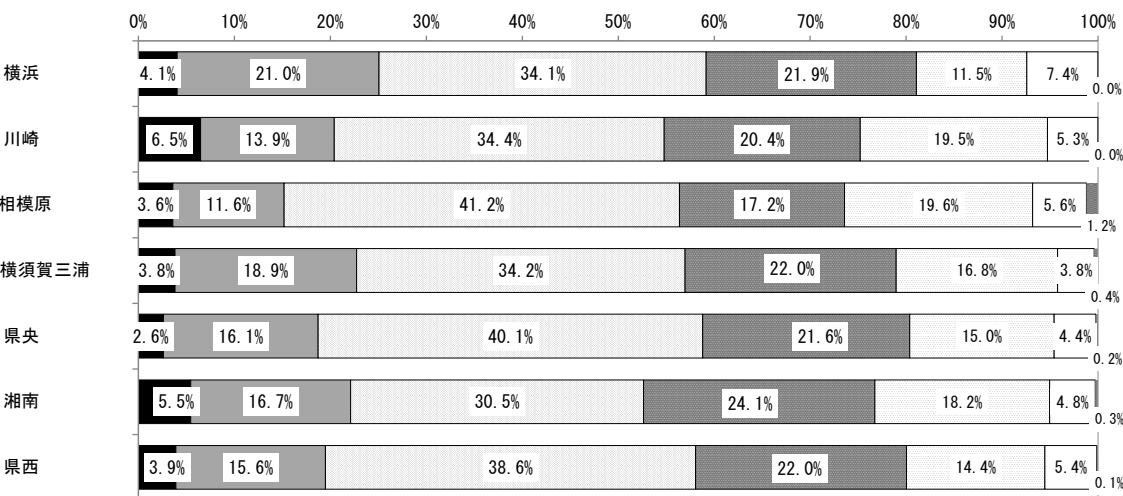


図 I-157 学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている(保護者)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-158 学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている(学校評議員)

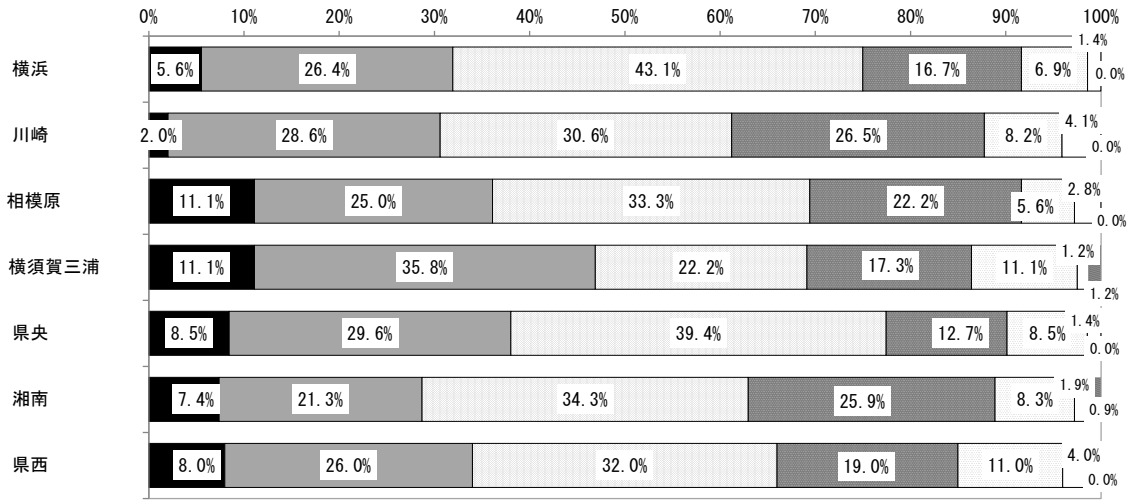


図 I-159 学校では一人ひとりに応じた個性を伸ばす教育が行われている(一般県民)

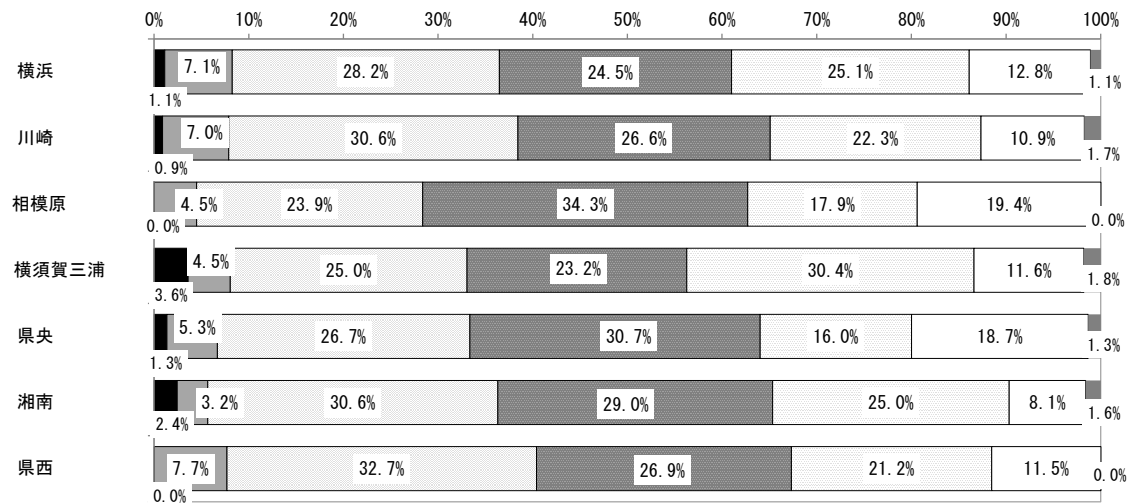
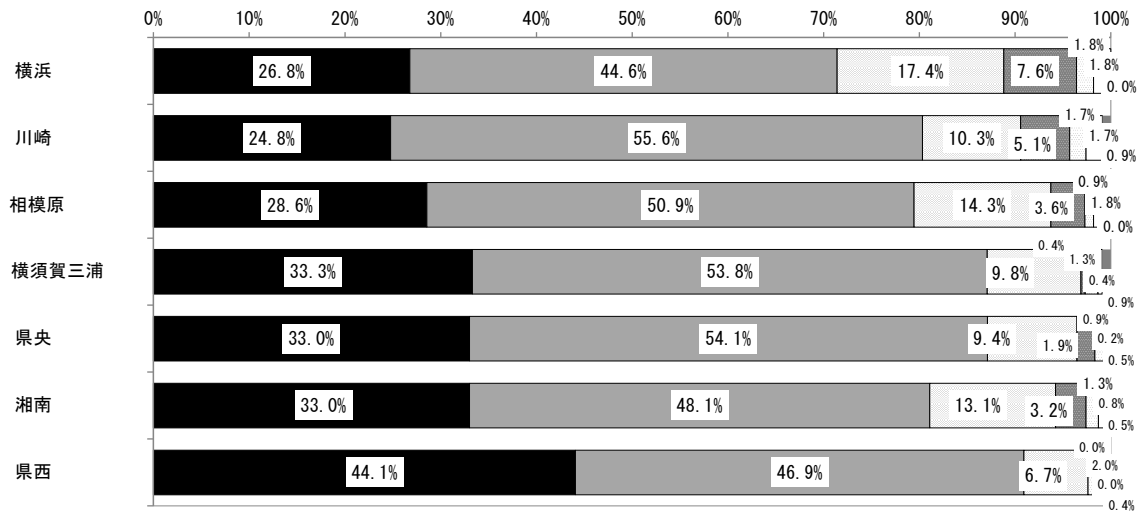


図 I-160 学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる(教職員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-161 学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる(保護者)

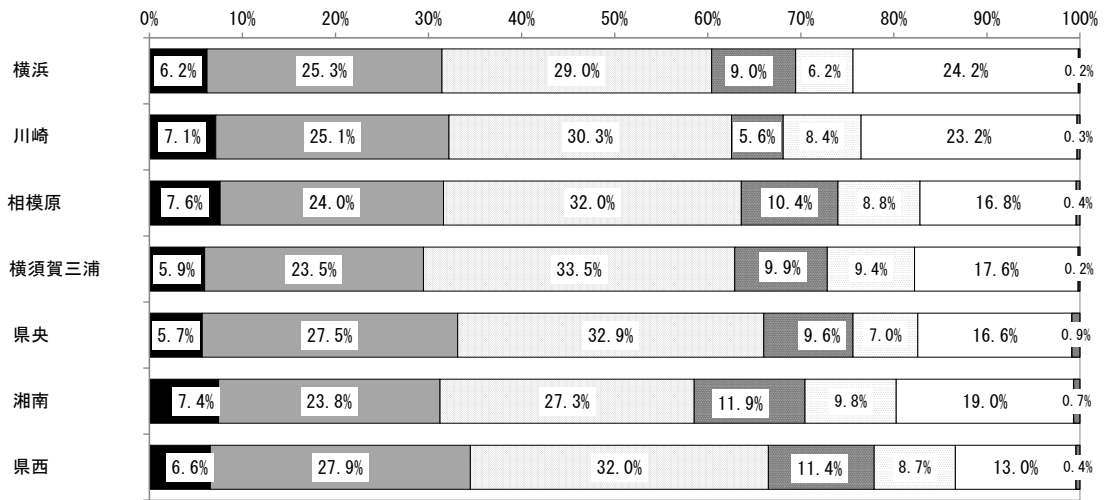


図 I-162 学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる(学校評議員)

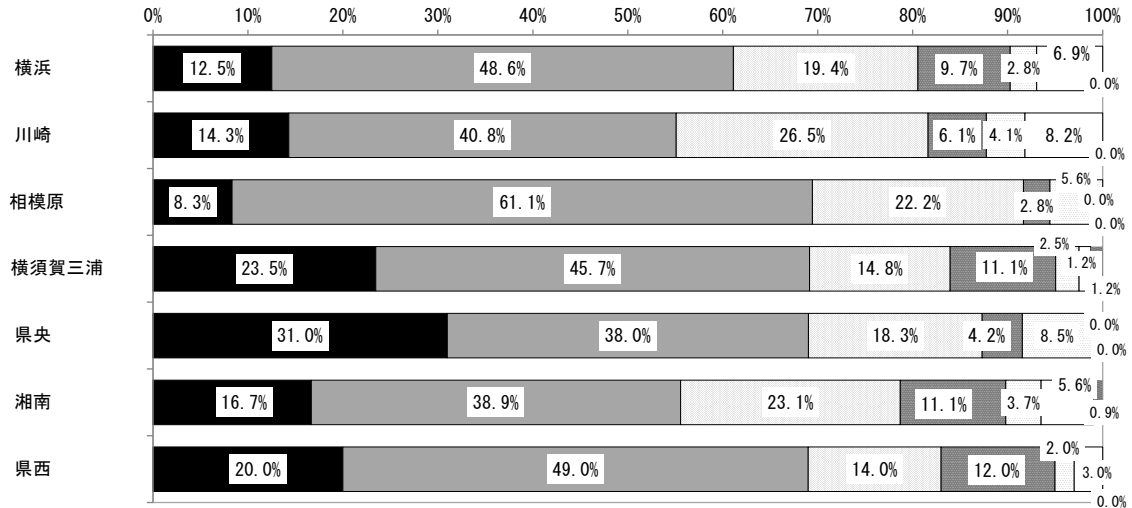
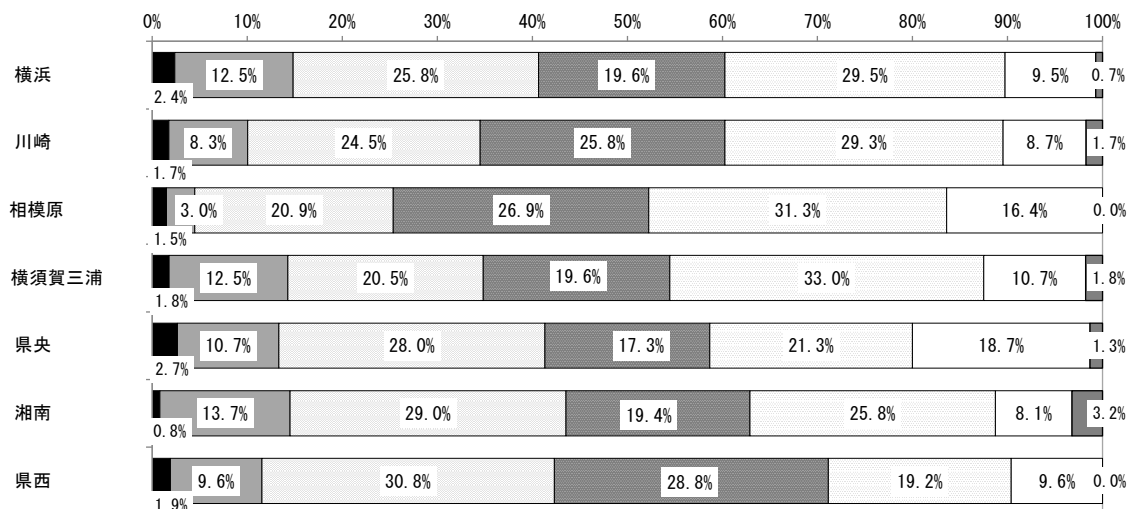


図 I-163 学校はいじめや不登校などに適切に対応し、解決に取り組んでいる(一般県民)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-164 家庭ではしつけや教育が十分に行われている(教職員)

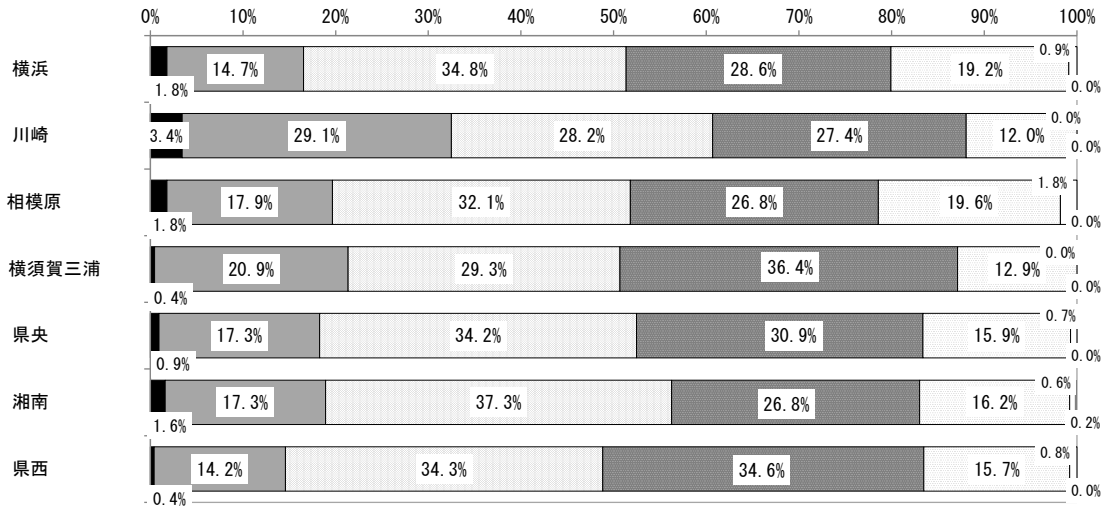


図 I-165 家庭ではしつけや教育が十分に行われている(保護者)

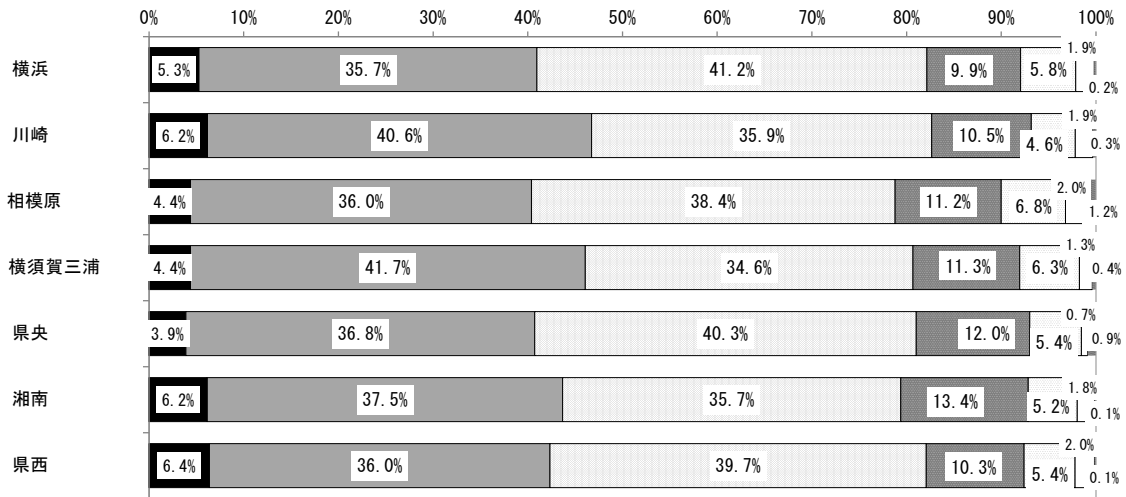
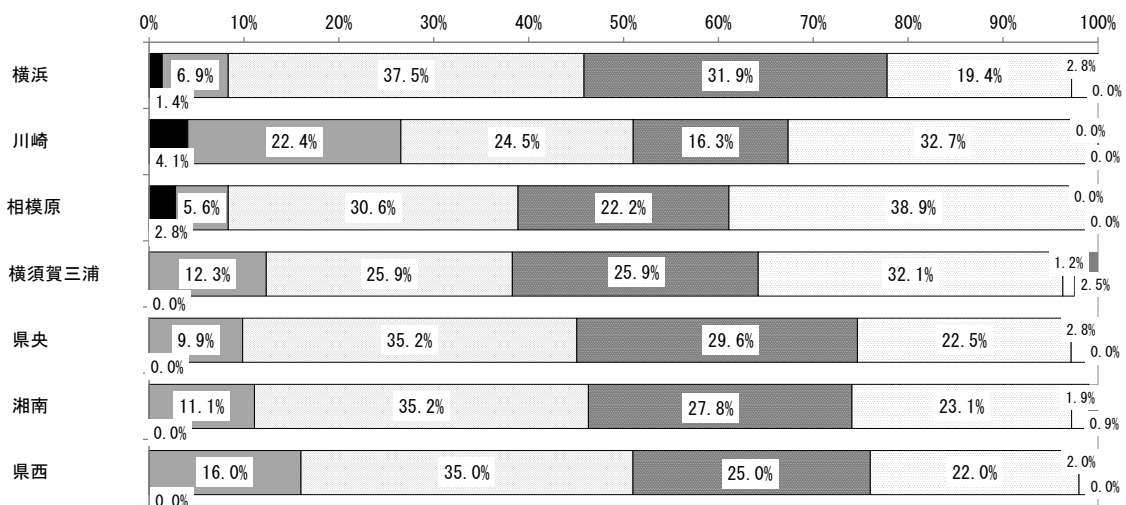


図 I-166 家庭ではしつけや教育が十分に行われている(学校評議員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-167 家庭ではしつけや教育が十分に行われている（一般県民）

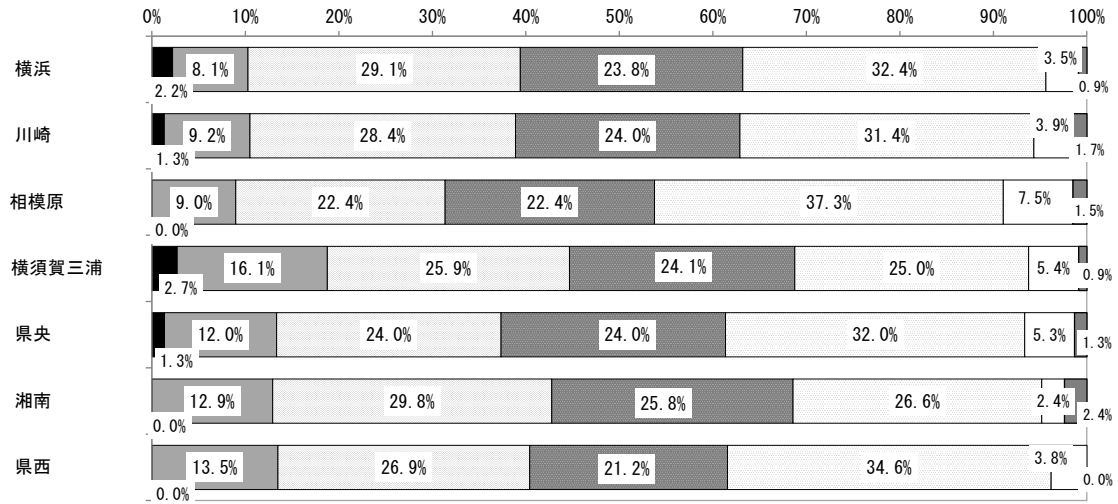


図 I-168 地域では児童・生徒の教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている（教職員）

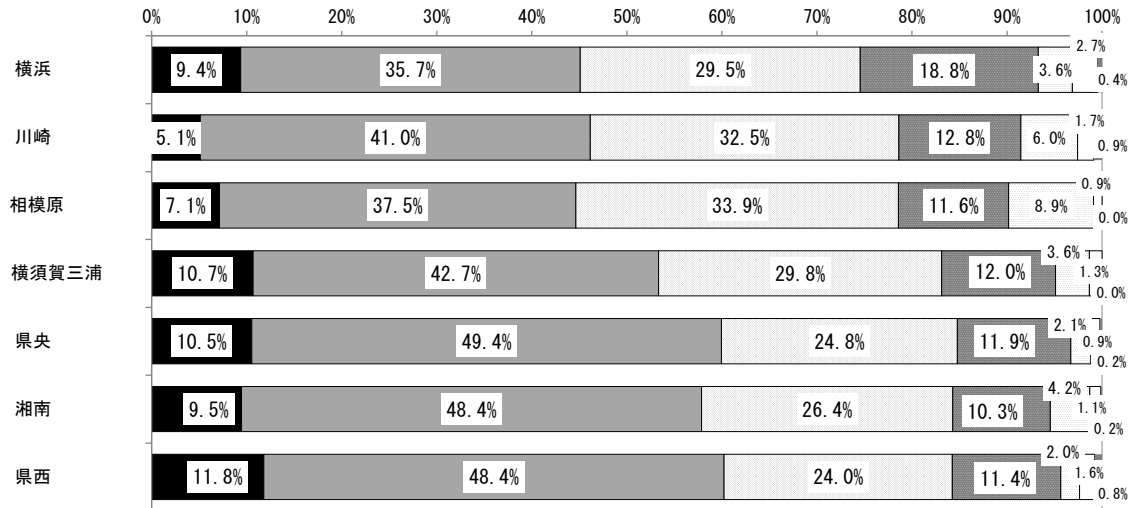


図 I-169 地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている（保護者）

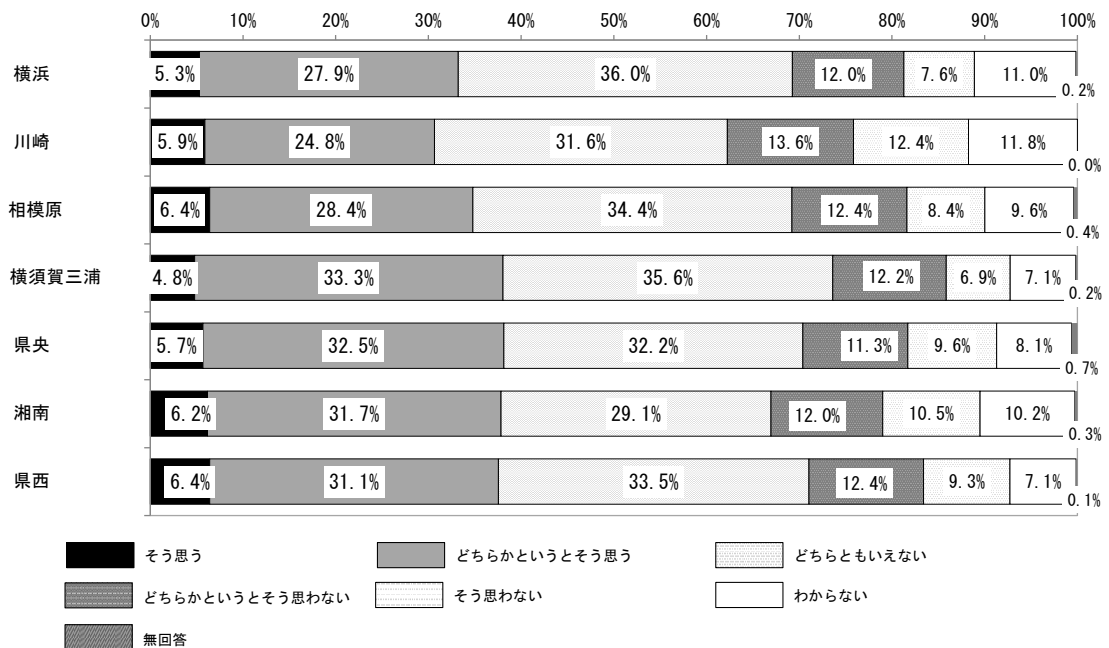


図 I-170 地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている(学校評議員)

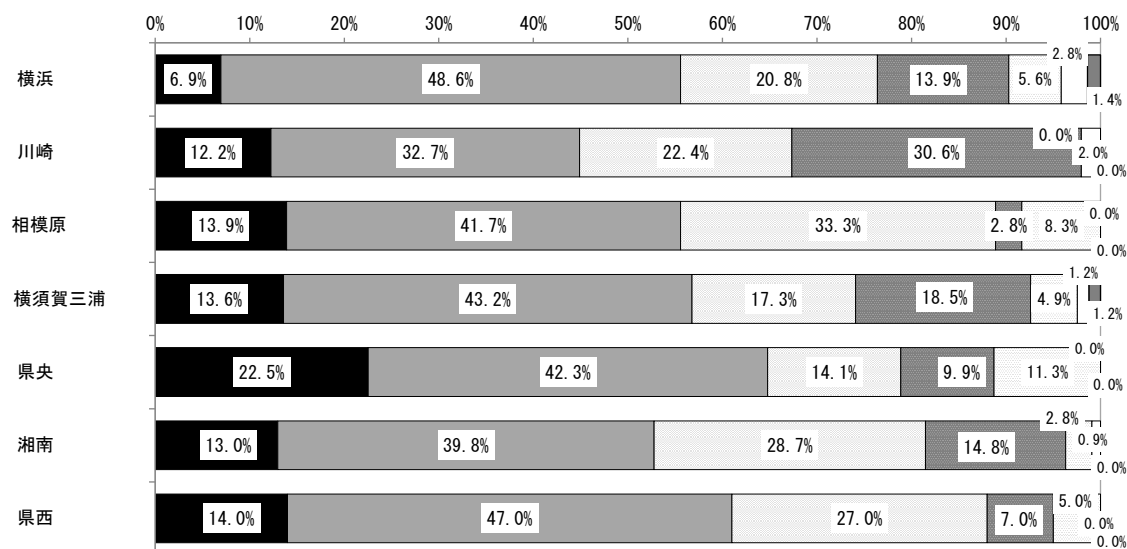
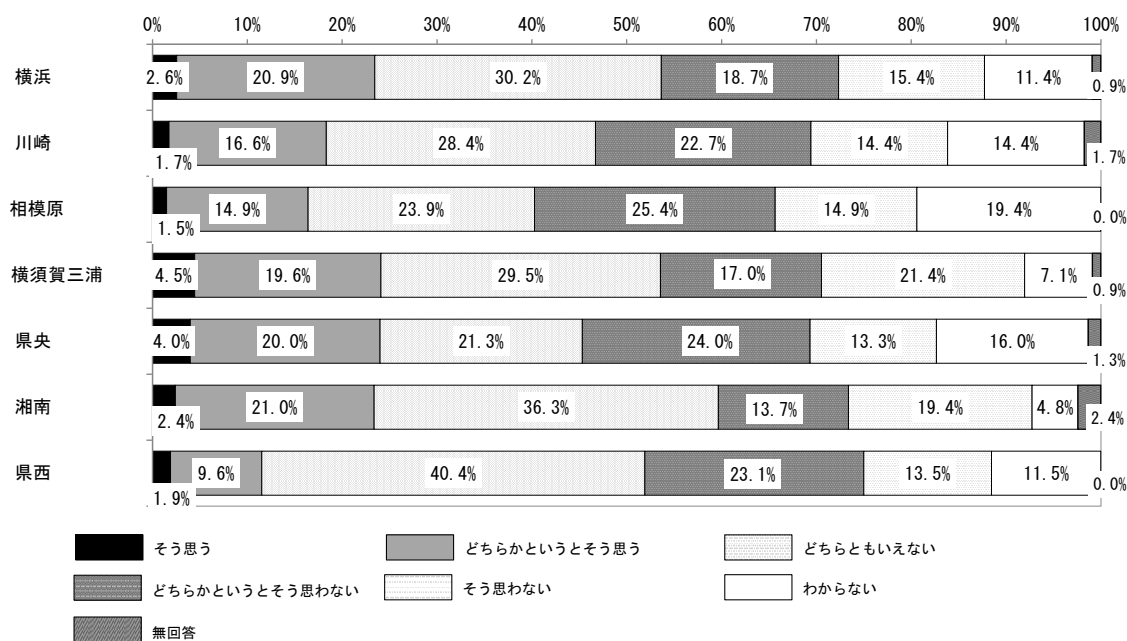


図 I-171 地域では子どもの教育のために、家庭や学校との連携・協力が行われている(一般県民)



I-4-2 「諸課題の解決の方策と学校のあり方」

教職員、保護者、学校評議員及び一般県民による『諸課題の解決の方策と学校のあり方』についての回答結果を地域別で比較したところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」の回答の割合の合計が最も高かった項目は、いずれの地区の教職員も「授業の質の向上や問題行動への対応などには、個人のみだけでなく学校全体でも取り組む」(横浜:91.5%、川崎:96.5%、相模原:93.7%、横須賀三浦:91.5%、県央:96.0%、湘南:95.4%、県西:98.4%)と回答する割合が最も高かった。

保護者も、すべての地区で「授業の質の向上や問題行動への対応などには、個人のみだけでなく学校全体でも取り組む」(横浜:91.2%、川崎:91.0%、相模原:88.8%、横須賀三浦:92.7%、県央:92.4%、湘南:92.8%、県西:91.5%)と回答する割合が最も高かった。

学校評議員もまた、いずれの地区においても「授業の質の向上や問題行動への対応などには、個人のみだけでなく学校全体でも取り組む」(横浜:91.6%、川崎:100.0%、相模原:94.4%、横須賀三浦:95.0%、県央:94.4%、湘南:99.1%、県西:99.0%)と回答する割合が最も高かった。(図 I-172~193 参照)

図 I-172 各学校が競い合って、これまで以上に特色ある教育活動・学校づくりを進める
(教職員)

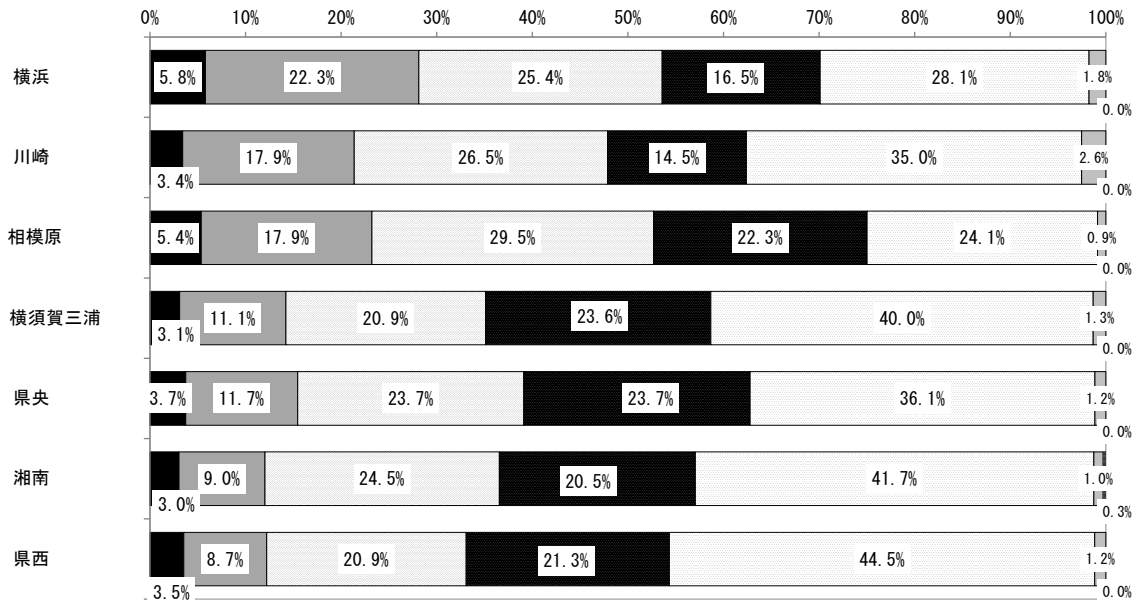
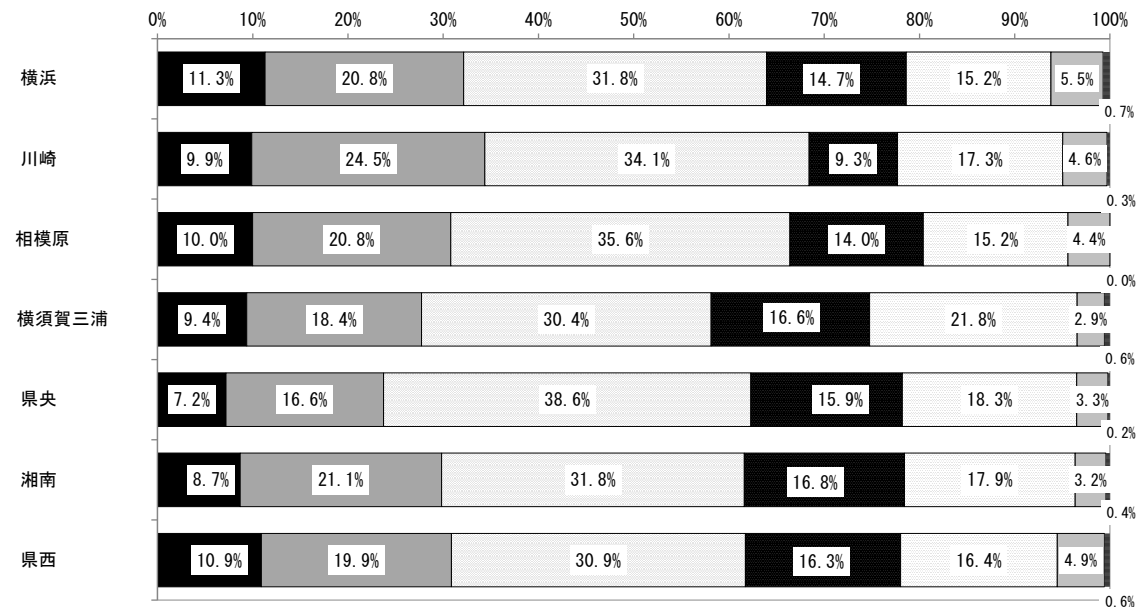


図 I-173 各学校が競い合って、これまで以上に特色ある教育活動・学校づくりを進める
(保護者)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

図 I-174 各学校が競い合って、これまで以上に特色ある教育活動・学校づくりを進める
(学校評議員)

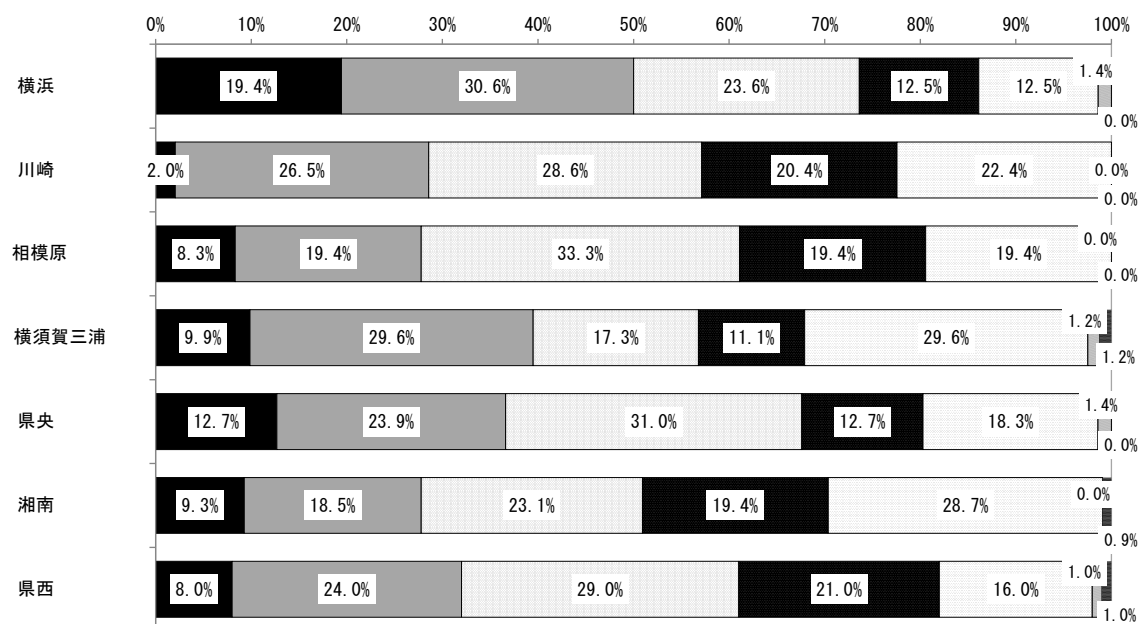
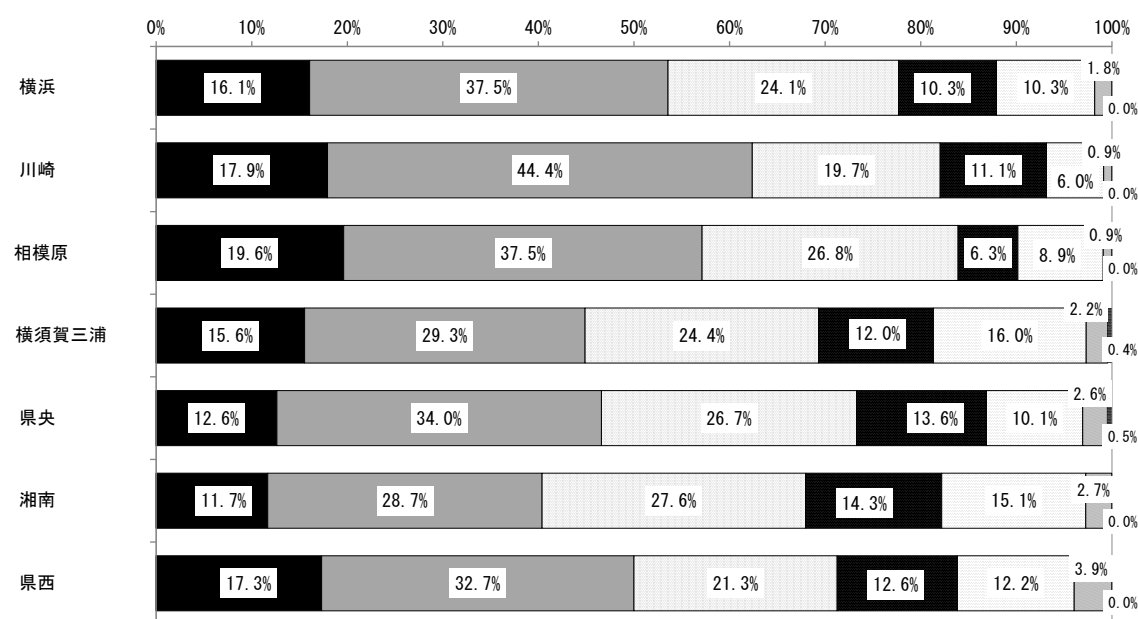


図 I-175 学校(校長)に予算や人事などの面で裁量を与え、現場の実態に応じた独自の
学校づくりを進める(教職員)



そう思う
 どちらかというそう思う
 どちらかというそう思わない
 どちらともいえない

どちらかというそう思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-176 学校（校長）にいろいろな決定権を与えて、子どもの実態に応じた学校づくりを進める（保護者）

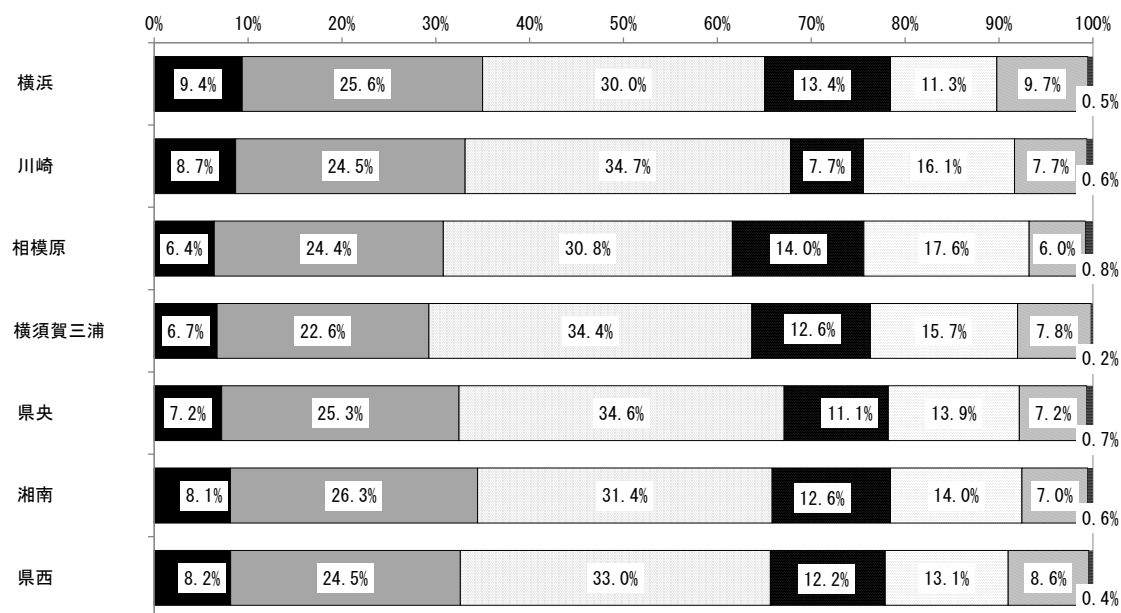
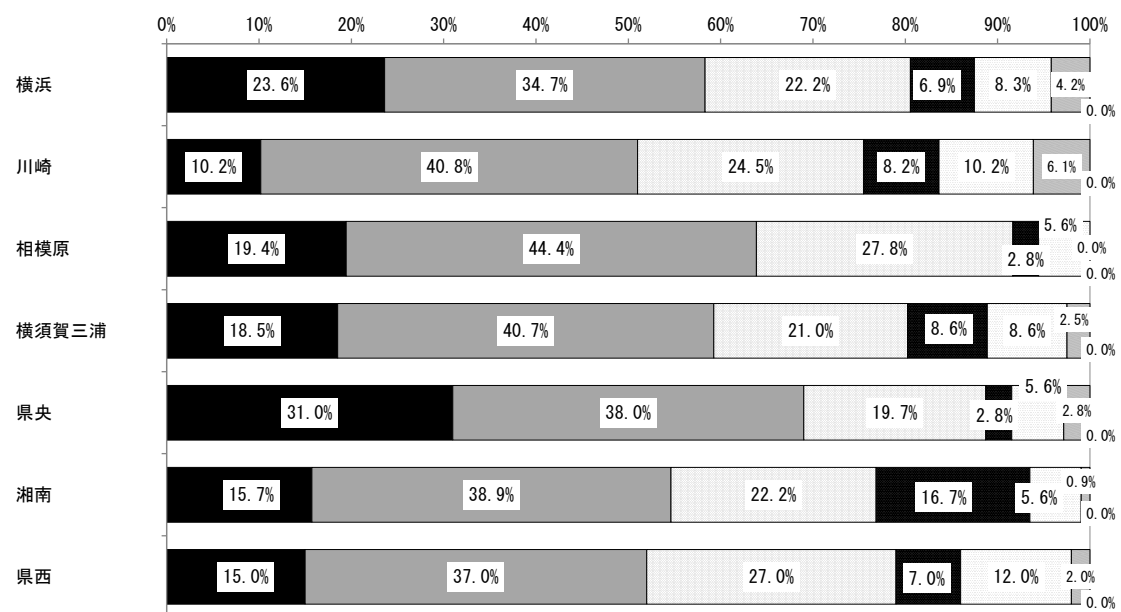


図 I-177 学校（校長）にいろいろな決定権を与えて、子どもの実態に応じた学校づくりを進める（学校評議員）



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

図 I-178 教員一人ひとりが自らの指導力を自覚し、それぞれの能力に応じた向上に努める(教職員)

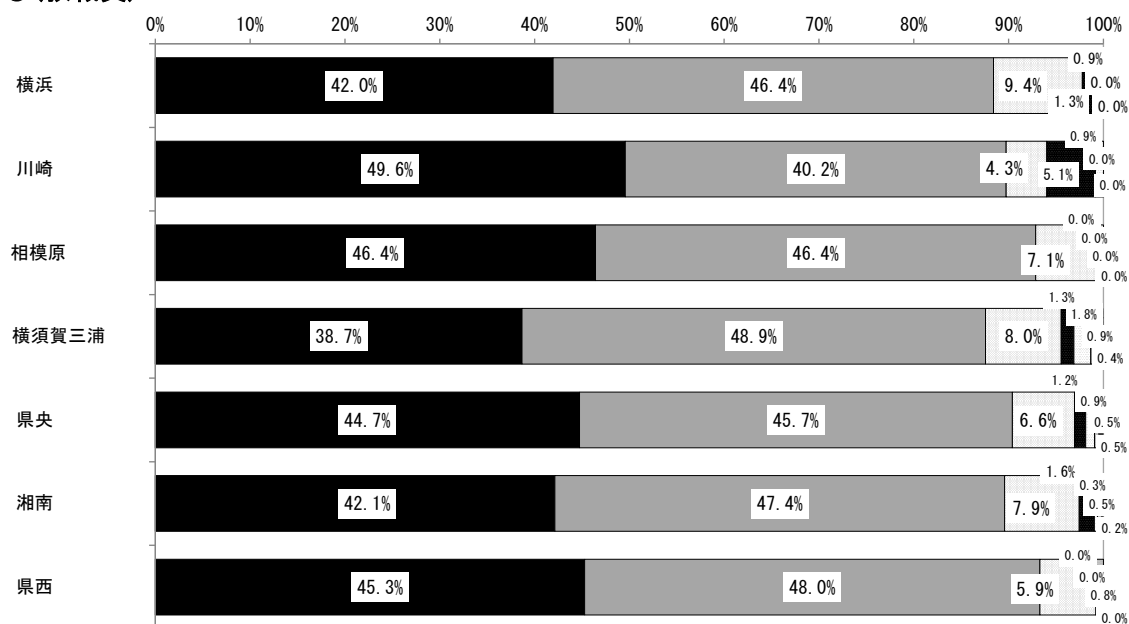
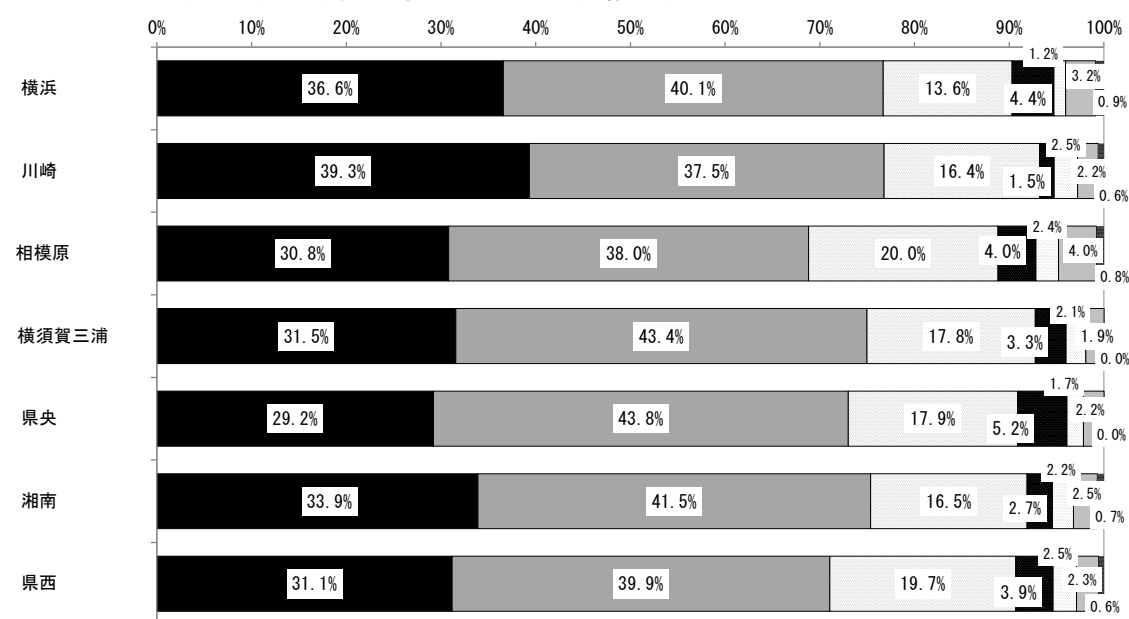


図 I-179 指導力の高い教員を増やしていく(保護者)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-180 指導力の高い教員を増やしていく(学校評議員)

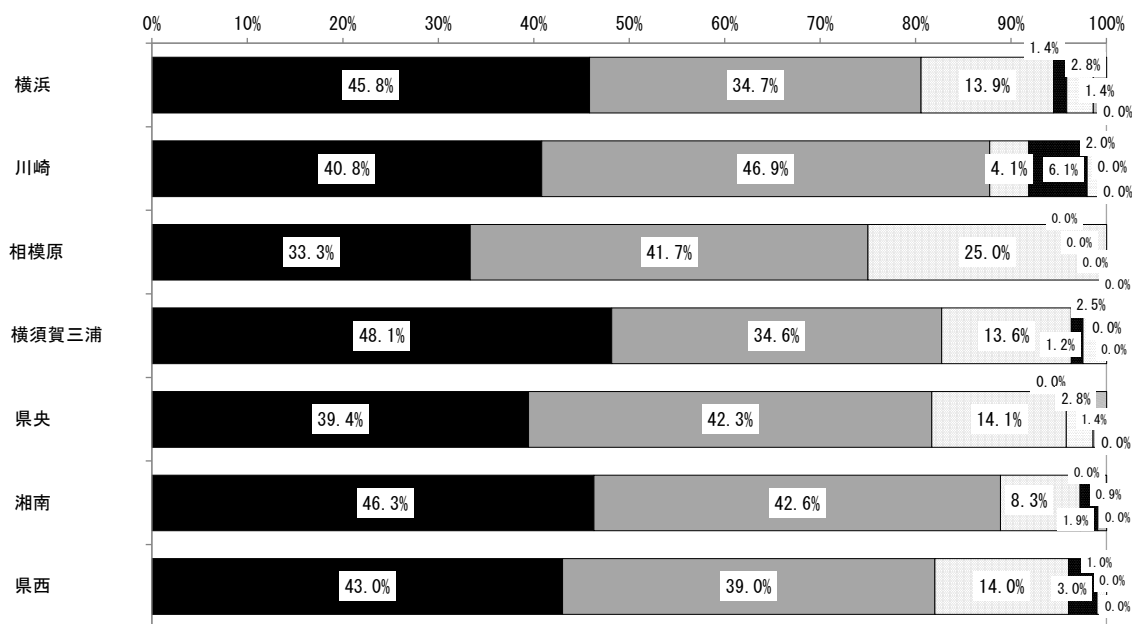
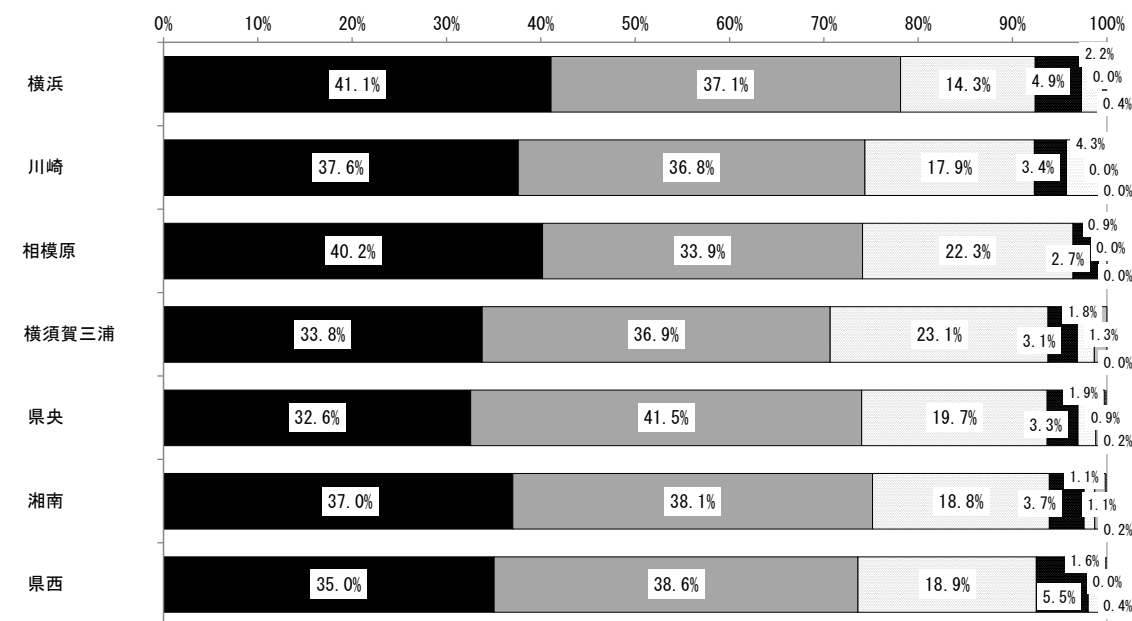


図 I-181 教員の仕事が均分化・平準化できるよう、校内の組織や業務内容を見直す(教職員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

図 I-182 授業の質の向上や問題行動への対応などには、個人の力だけでなく学校全体でも取り組む(教職員)

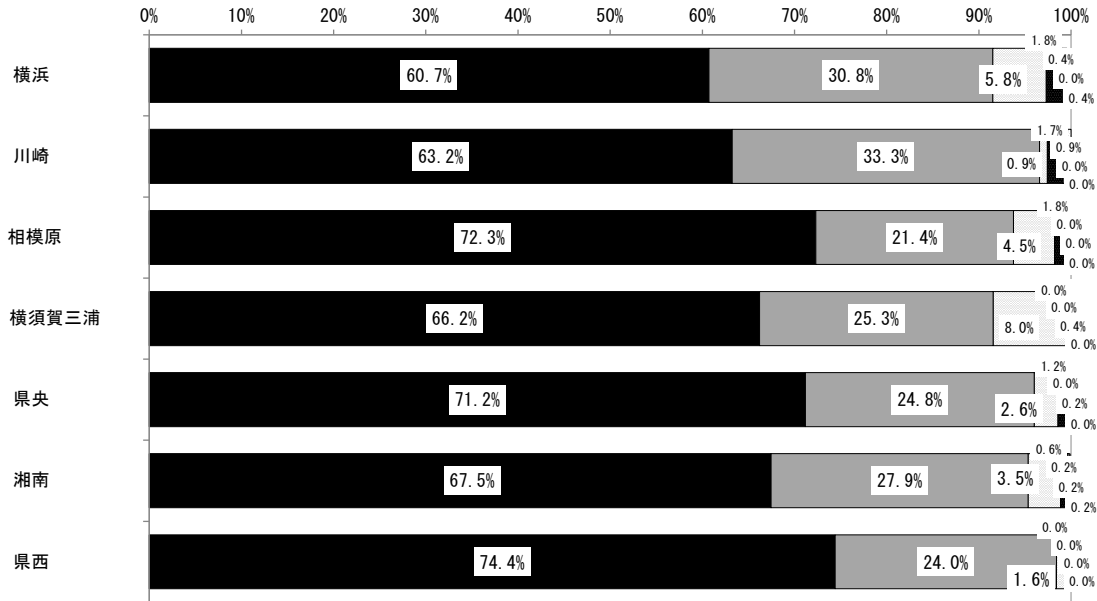
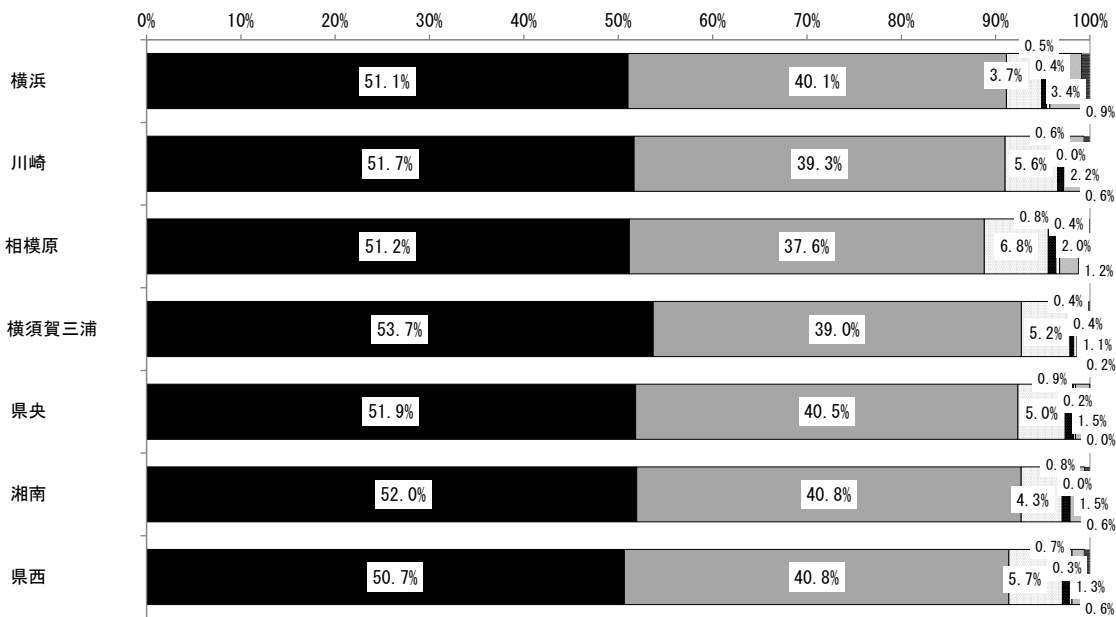


図 I-183 授業の質の向上や問題行動への対応などには、教員個人だけでなく学校全体でも取り組むようにする(保護者)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-184 授業の質の向上や問題行動への対応などには、教員個人だけでなく学校全体でも取り組むようにする(学校評議員)

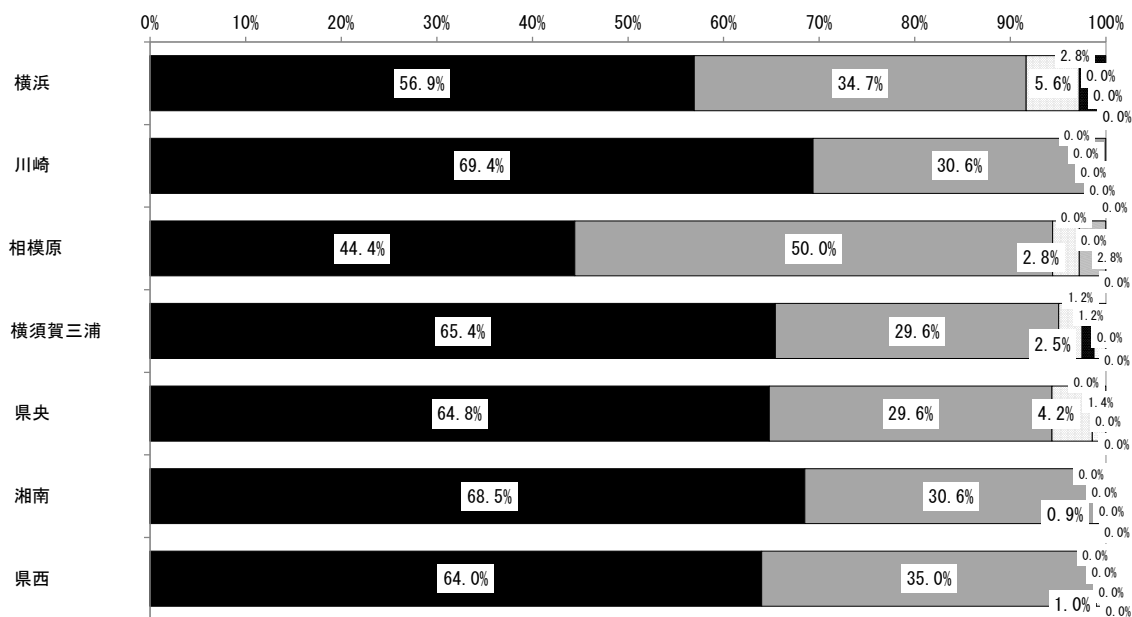
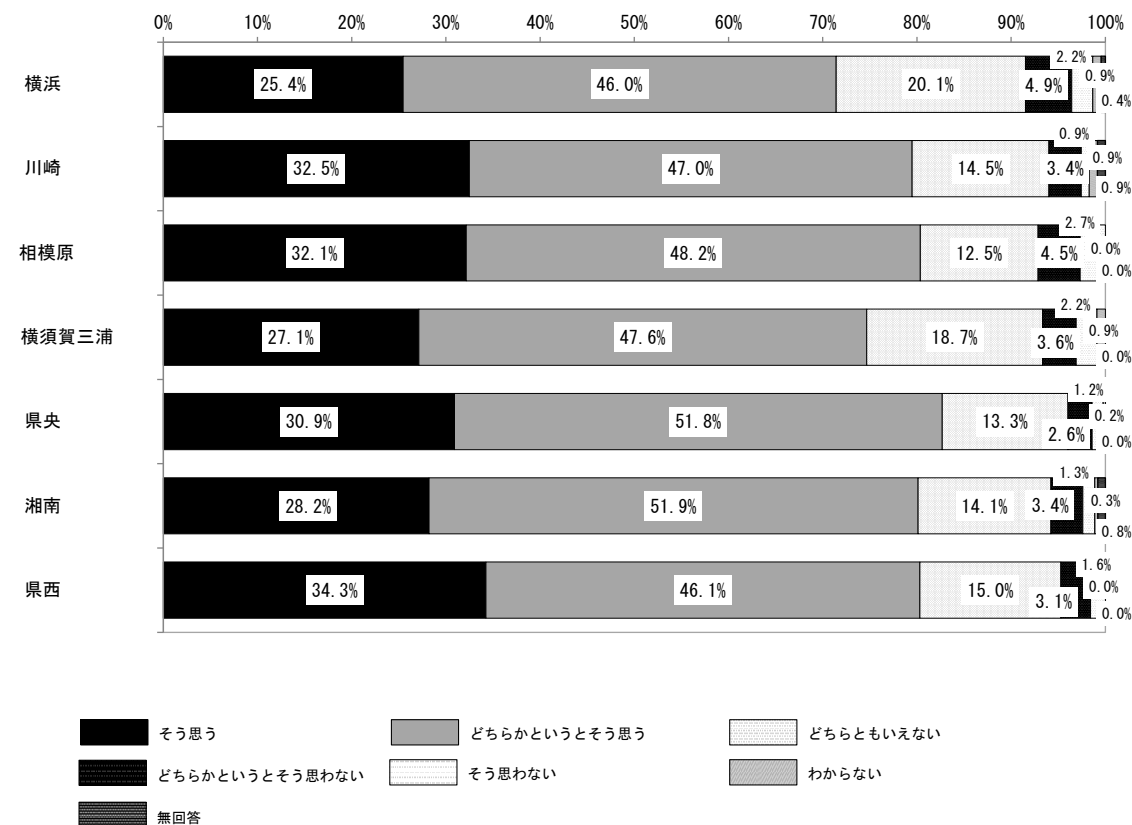


図 I-185 地域との連携・協力を一層深め、地域の教育力を生かした学校づくりを進める(教職員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない

どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない

無回答

図 I-186 地域との連携・協力を一層深め、地域の教育力を生かした学校づくりを進める
(保護者)

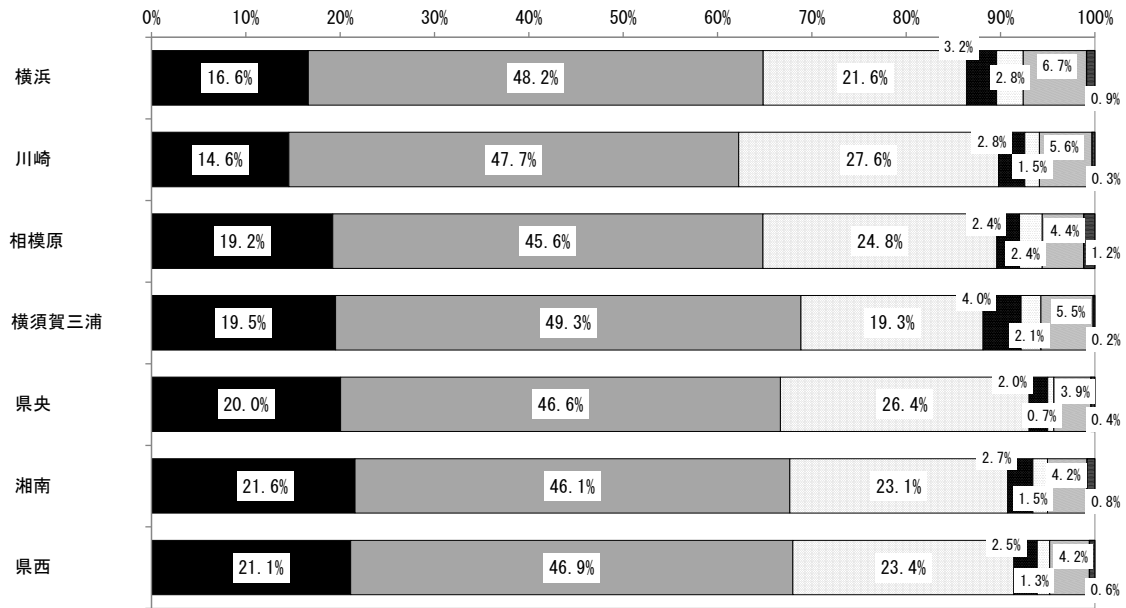


図 I-187 地域との連携・協力を一層深め、地域の教育力を生かした学校づくりを進める
(学校評議員)

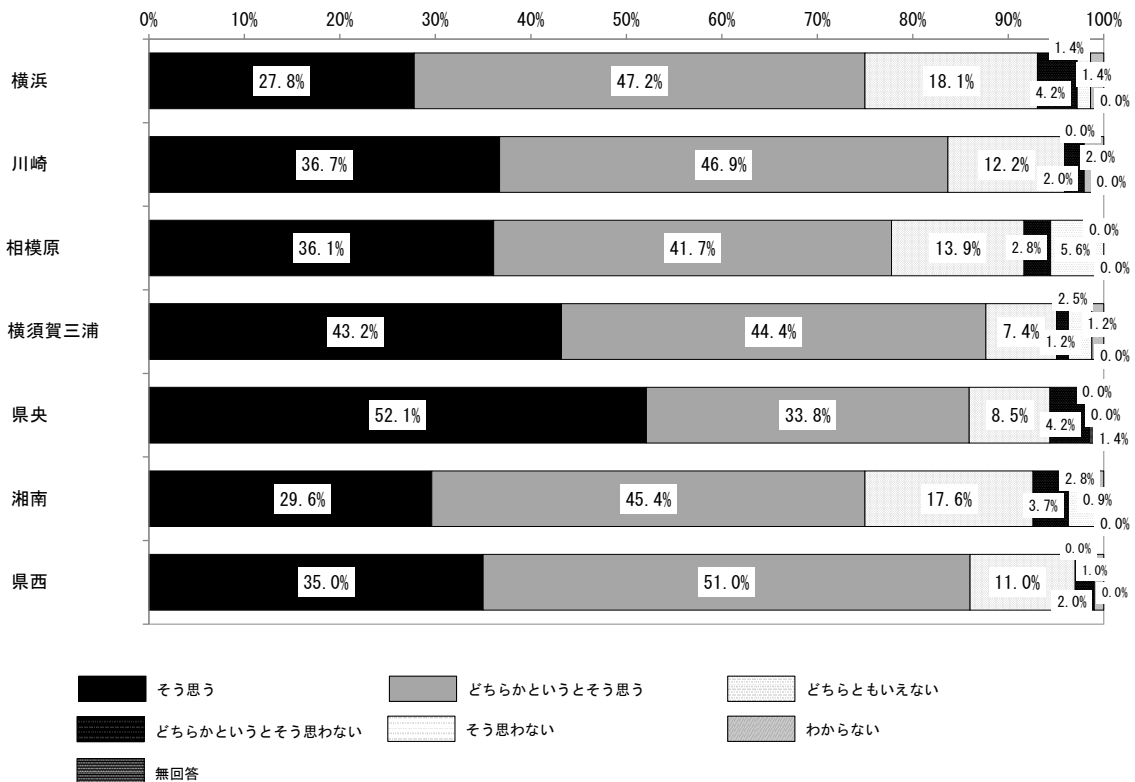


図 I-188 NPOや企業などとの連携・協力を進め、県民の力を生かした学校づくりを進める(教職員)

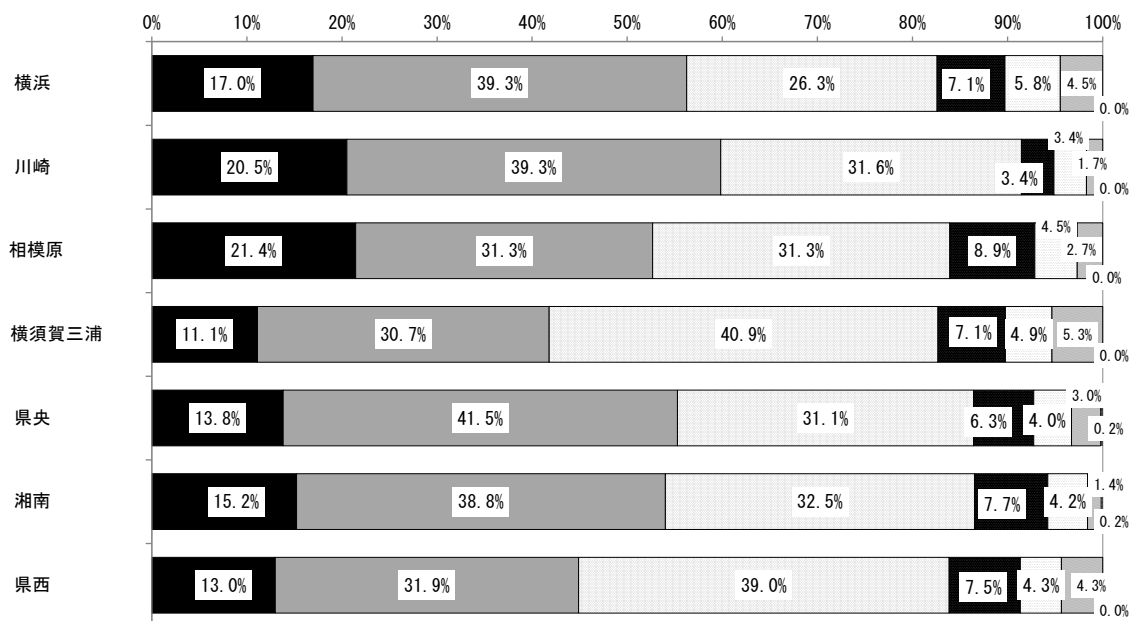
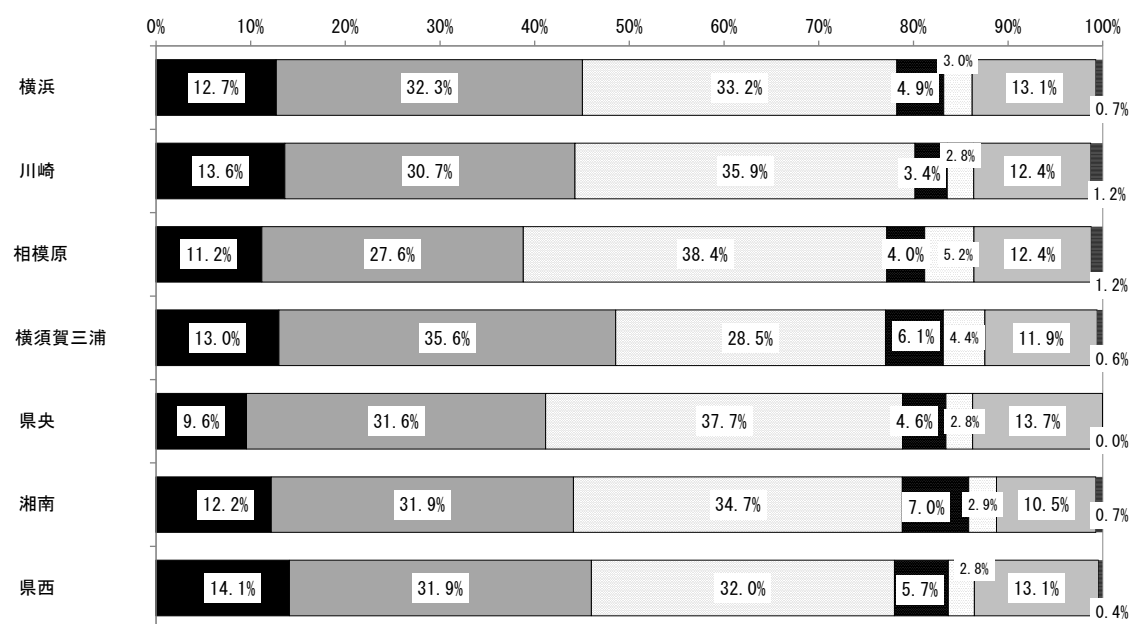


図 I-189 NPO（非営利組織）や企業などとの連携・協力を進め、県民の力を生かした学校づくりを進める(保護者)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

図 I-190 NPO（非営利組織）や企業などとの連携・協力を進め、県民の力を生かした学校づくりを進める（学校評議員）

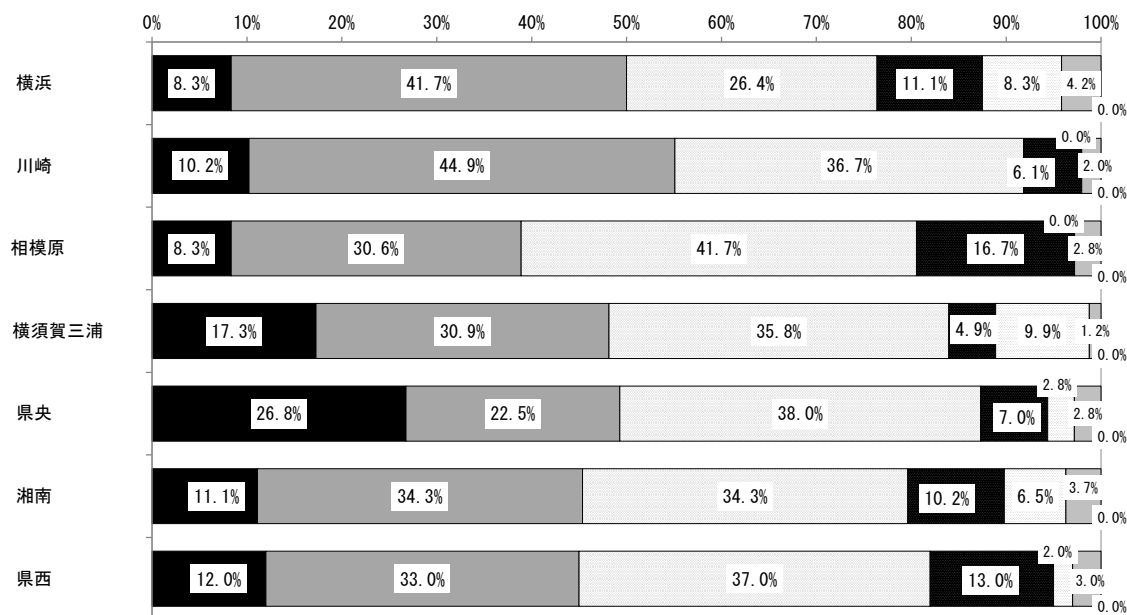
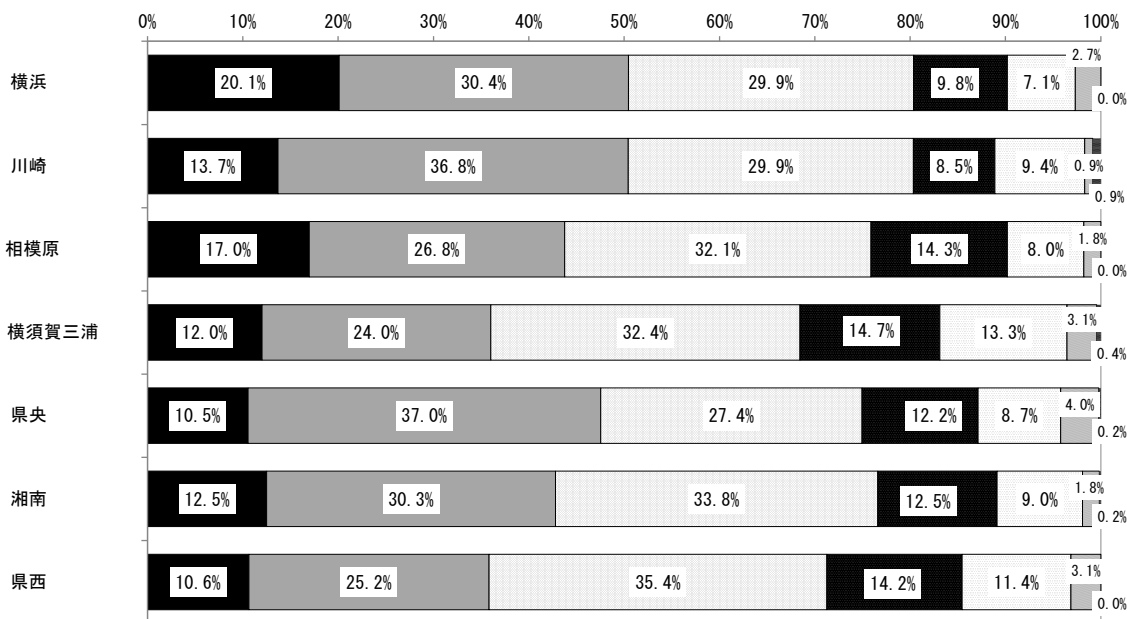


図 I-191 学校が児童・生徒の教育機能だけでなく、地域の教育の拠点としての役割も担う存在となる（教職員）



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

図 I-192 学校が、子どもの教育だけでなく、地域の人が学べる拠点としての役割ももつようにしていく(保護者)

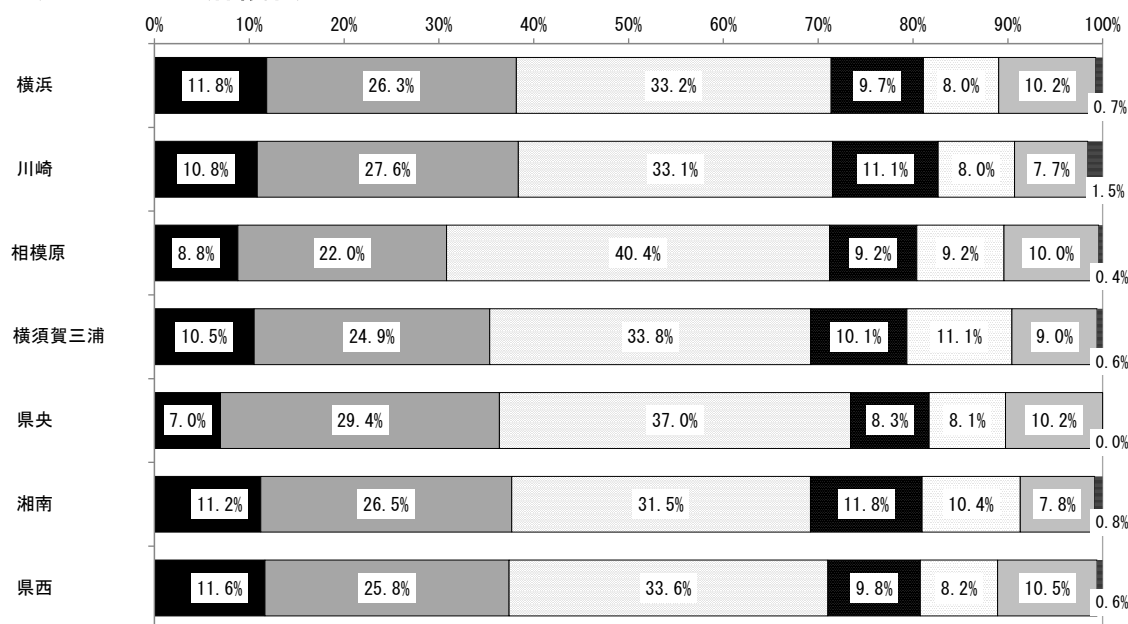
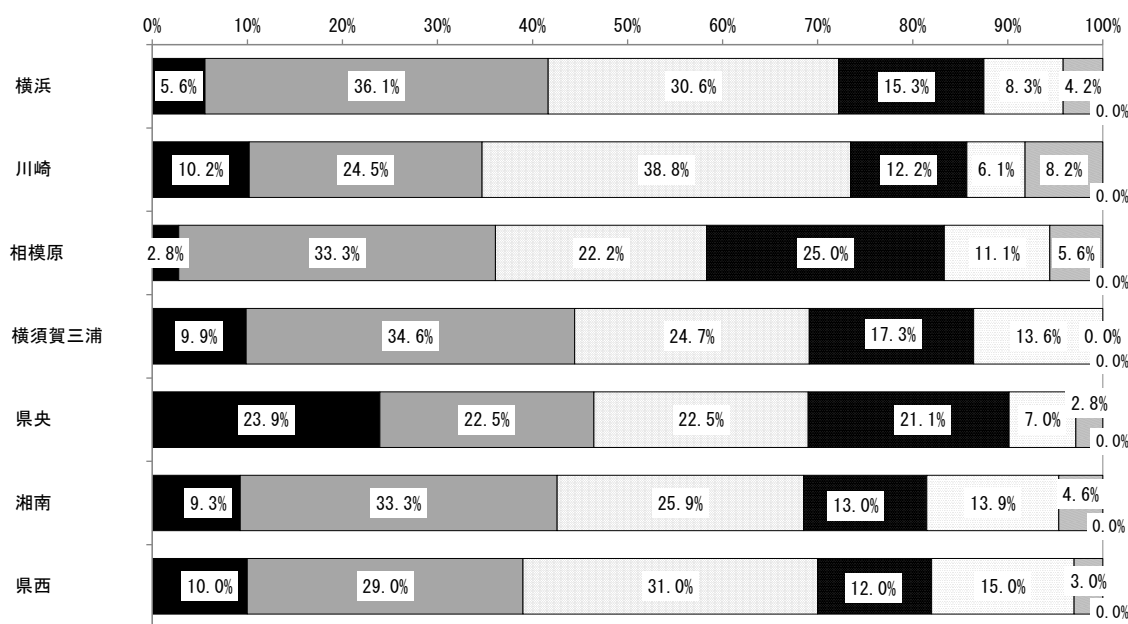


図 I-193 学校が、子どもの教育だけでなく、地域の人が学べる拠点としての役割ももつようにしていく(学校評議員)



そう思う
 どちらかというと思う
 どちらともいえない
 どちらかというと思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

I-4-3 『神奈川らしい教育』に生かしたいもの

教職員、保護者、学校評議員による『「神奈川らしい教育」に生かしたいもの』についての回答結果を地域別で比較したところ、回答の割合が最も高かった項目は、いずれの地区の教職員も「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」（横浜：62.5%、川崎：69.2%、相模原：73.9%、横須賀三浦：67.0%、県央：72.1%、湘南：69.3%、県西：73.2%）と回答する割合が最も高かった。

保護者も、すべての地区で「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」（横浜：61.0%、川崎：68.4%、相模原：64.0%、横須賀三浦：58.1%、県央：65.1%、湘南：58.8%、県西：62.7%）と回答する割合が最も高かった。

学校評議員もまた、いずれの地区においても「自他のいのちを尊重する心などの豊かな人間性や社会性」（横浜：69.4%、川崎：77.6%、相模原：80.6%、横須賀三浦：71.6%、県央：81.7%、湘南：75.9%、県西：78.0%）と回答する割合が最も高かった。（図 I-194～196 参照）

図 I-194 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(教職員)

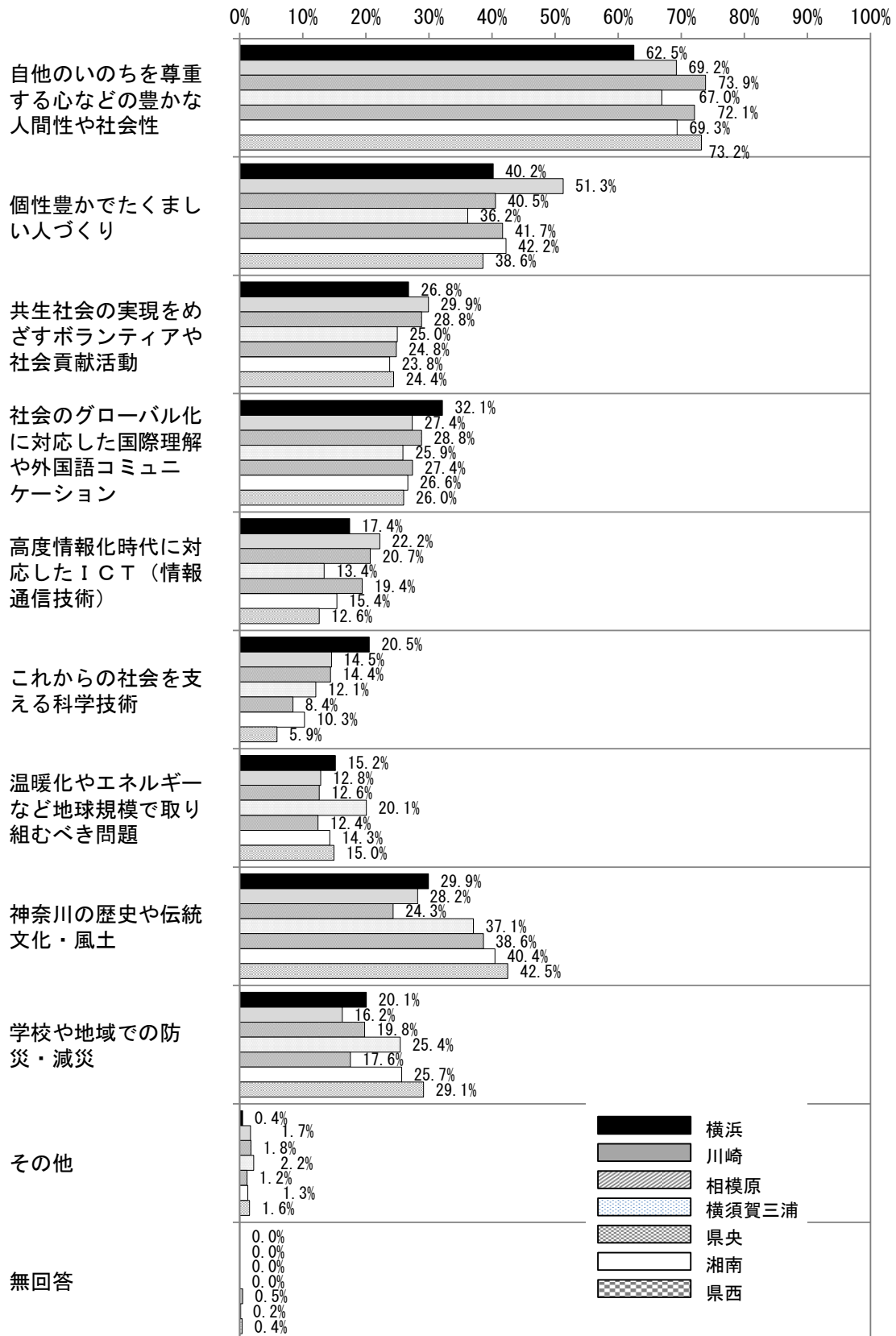


図 I-195 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(保護者)

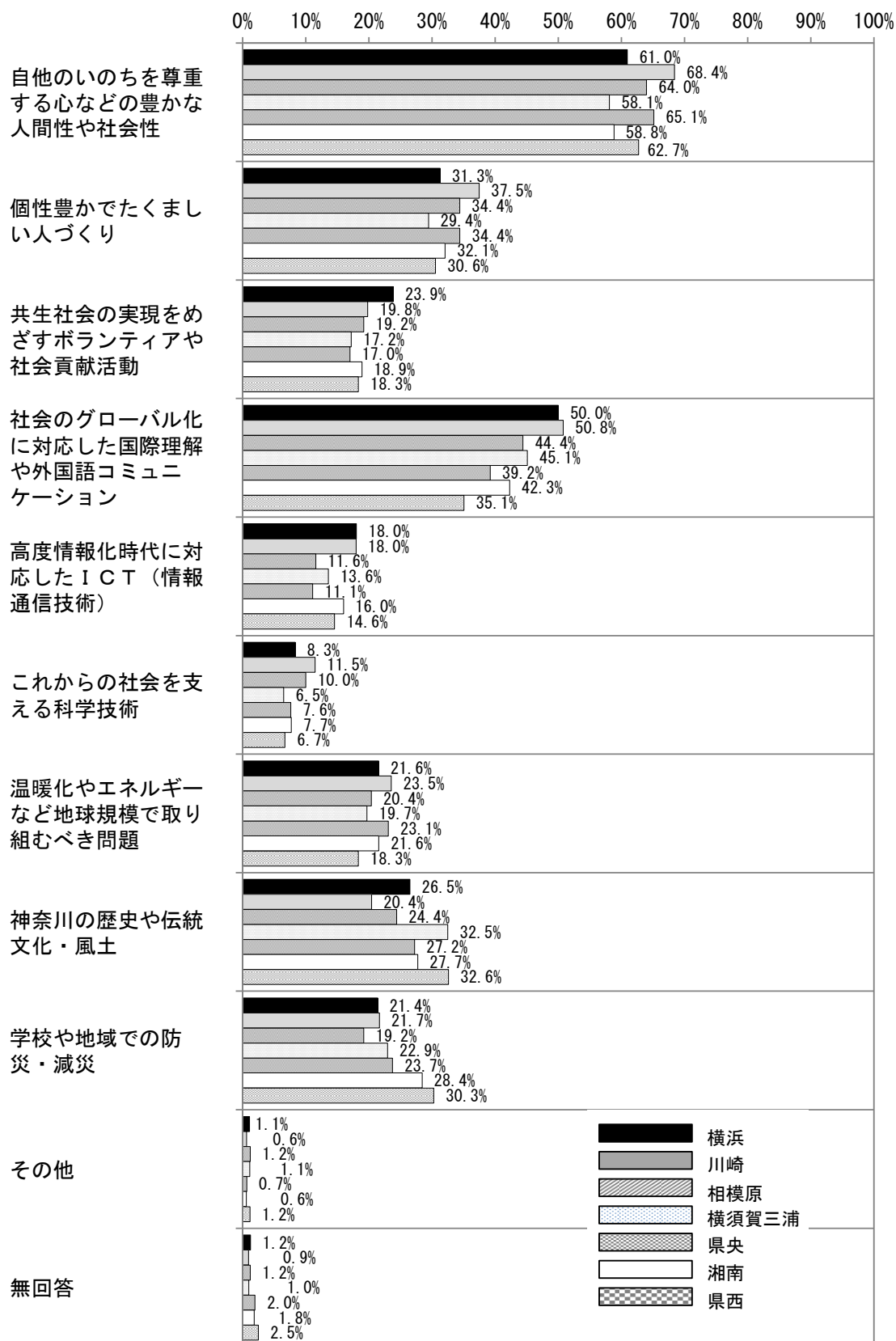


図 I-196 「神奈川らしい教育」に生かしたいもの(学校評議員)

